

アコースティックバンド「テノヒラ」のボーカル 愛南町出身の kiku さんがつづるふるさとエッセイ

—あいなん音故地新— だから、更新し続けるのです。

鍼灸のように古くから伝わるものは古い考えが残りやすい。これは伝統芸術や武道にもいえる。それは良いことでもあるけれど、それにこだわるばかりに未来に花を咲かせる素晴らしい才能や人材を潰してしまうこともある。

例えば鍼灸界ではお弟子さんは師匠の身の回りの世話や雑務をしながら技術を見て盗み、長い時間をかけて習得し独立する。その間はお給料が支払われない。驚くことにお金がないと暮らしていけないこの時代でもこのようなシステムが残る。私の友人もある先生の下に入門したが、生活苦と精神的ストレスでやめてしまった。見て盗め、仕事の後も寝る間を惜しんで練習しろ、疲れるのは気合いが足りないから、と言われたそう。彼女は他の鍼灸院に移るわけでもなく、他の先生の下に就くわけでもなく、鍼灸師をやめた。それを聞いたとき悔しさに震えた。

何かを伝えたり、教えたりする立場にある人は古き良きやり方を残しながらも、時代に沿って方法を更新し続けることが必要やと思う。

考え方も人の暮らしも、学ぶ手段も昔とは随分違う。見て盗むのも精神論で乗りきること今の時代には古く感じる。古き良き伝統や文化が時代を超え、良い形で長く長く続いていくことを願う。

(テノヒラkiku)



本日！海日和!! vol.130 「中秋の名月」

今年の中秋の名月は9月21日で、これは旧暦の8月15日にあたる。旧暦では7・8・9月を秋としており、その真ん中の8月15日を「中秋」と呼び、その日の月を「中秋の名月」と呼んでいる。

秋になり、空気が澄んできて、月が美しく見えるこの時期に、お月見をするようになったようだ。前置きが長くなってしまったが、トックリガンガゼモドキを見ていて、満月を連想してしまった。

トックリガンガゼモドキはウニの仲間で、細くて長い刺とげを持っている。この刺は鋭く、ウェットスーツくらいなら簡単に突き抜けてしまう。おまけに折れやすく、毒があるのでやっかいだ。不用意に触ると刺が体の中に残り、しばらく痛い思いをする。



【トックリガンガゼモドキの肛門すい錐】

満月のような部分は、肛門すい錐と呼ばれる内臓の一部だ。膨らんだりしぼんだりするので、見ていると何だか笑ってしまう。これが酒を入れる徳利とっくりに見えることから名前が付いたようだ。

何のためにあるのか調べてみたが、分からなかった。9月21日に名月が見えなかったら、この写真で我慢しよう。

(撮影地：愛南町)愛南サンゴを守る会 西尾知照ともてる